

第 47 回

日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会

開催趣意書

学術集会会長 南口早智子

令和 4 年 6 月吉日

会長挨拶

第 47 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会
会長 南口 早智子

この度、第 47 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会を京都臨床細胞学会が担当させていただくことになりました。COVID-19 の感染拡大は収まらず、未だ日本でも世界でも感染者は減少、増加を繰り返す状況ではありますが、昨年度、奈良臨床細胞学会はこの厳しい状況の中で現地+WEB 開催というハイブリッドでの形で見事に開催され、多くの人が参加されました。今年度も昨年度に習い、COVID-19 の感染拡大予防に十分気をつけた体制を作りながら、Zoom によるハイブリッド（現地+ライブ、オンデマンド開催）で開催させて頂きたいと存じます。

京都で開催となる 2022 年の連合会学術集会でも、従来の形式を基本的に踏襲し、午前中に複数の教育講演、午後に特別講演と教育企画およびスライドカンファレンスという構成とさせていただきます。内容は、基礎から Up to date まで多岐にわたります。教育講演では、今年度から再開された HPV ワクチンと子宮頸部細胞診+HPV test の併用健診について、私たちが仕事を行う上で知っておくべき知識やご経験、対策についてご教示いただきます。また、細胞診の教育的内容をということで、甲状腺と尿細胞診のピットフォールについてのご講義をいただきます。技術的な教育講演としては、細胞診検体は遺伝子検査でも非常に有用性が高い検体ですが、最も治療決定に貢献している気管支洗浄検体を用いた遺伝子検査や近年研究テーマとしても多くの論文が出て、発展してきている AI(人工知能)の細胞診領域での応用について、お話いただきます。ワークショップでは、診断、遺伝子検査の両方で活躍するセルフブロックの作成法について、非常に興味深い実際的な内容をお話いただきます。そして、スライドカンファレンスでは、教育的な内容を皆様と共に学ぶ機会を設けています。

学会は現地開催の場合は、実際お会いして、ライブでお話が聞ける非常に良い機会ですが、遠方であったり、お子さんが小さかったりなど会場にいけない事情がある場合には参加の意思があっても参加できないことがありました。しかし、COVID-19 感染拡大は、リモートで繋がる、勉強できる方法の発展を私たちに教えてくれた機会でもありました。ライブでも、また学会後の教材として一部は勉強できるような形を作り、以前よりも会員にとって、実際の日常業務に役立つ、より良い継続的な学習の機会となるように、学会の開催に取り組みたいと考えています。

開催概要

- 1 学術集会名称 第 47 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会
- 2 学術集会会長 南口早智子（京都大学医学部附属病院 病理診断科・病理部）
- 3 開催日程 令和 4 年 12 月 11 日（日）
- 4 開催場所 京都大学百周年時計台記念館（Web 併用）
〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL: 075-753-2285

FAX: 075-753-2107
- 5 開催形式 現地開催
（併せて Zoom によるライブ配信 + オンデマンド配信を予定）
- 6 参加予定数 約 500 人
（現地参加：250 人、Web 参加：250 人）
- 7 学術集会事務局 京都臨床細胞学会事務局 （担当：白波瀬 浩幸）
京都大学医学部附属病院 病理診断科内
〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町 54
E-mail: jsccl.kyoto@gmail.com

企画内容 (プログラム)

9:30 受付開始

9:50-10:00

開会の挨拶 南口早智子 (第47回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会長)

10:00-11:00 教育講演1

座長：森 泰輔 先生 (京都府立医科大学産婦人科学教室)

- ・ HPV ワクチンの再普及を目指して 上田 豊 先生 (大阪大学 産科学婦人科学教室)
- ・ 子宮頸癌の撲滅をめざして (細胞診・HPV 検査併用検診を中心に) 岩成 治 先生 (島根県立中央病院 産婦人科)

11:00-12:00 教育講演2

座長：南口早智子 先生 (京都大学医学部附属病院病理診断科)

- ・ 甲状腺細胞診のピットフォールー注意したい3つのトラップー 鈴木 彩菜 先生 (隈病院 病理診断科)
- ・ 尿路上皮癌の最近の話題と尿細胞診のピットフォールー 大江 知里 先生 (関西医科大学附属病院 病理診断科)

～ 昼休み ～

12:45-13:00 総会・第48回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集會会長の挨拶

13:00-14:00 特別講演

座長：吉澤明彦 先生 (京都大学医学部附属病院病理診断科、京都大学大学院医学研究科附属解剖センター)

- ・ 細胞診と遺伝子検査：何がどこまでできるのか？ 元井 紀子 先生 (埼玉県立がんセンター 病理診断科)
- ・ 細胞診材料における人工知能での判定の可能性 (仮) 塚本 徹哉 先生 (藤田医科大学 医学部病理診断学)

14:00-15:00 教育企画 (ワークショップ)

座長：山口直則 先生 (綾部市立病院臨床検査科)

平田勝啓 先生 (京都大学医学部附属病院病理部)

- ・ 試験管法によるセルブロック作製 濱川 真治 先生 (公立昭和病院 臨床検査科)
- ・ セルブロック作製における透析チューブ法の有用性について (仮) 川上 智史 先生 (鳥取県立中央病院 中央検査室)

～休憩～

15:15-16:15 スライドカンファレンス

座長 米丸 隼平 先生 (滋賀医科大学医学部附属病院病理診断科)

座長 江口 光徳 先生 (宇治徳洲会病院検査科)

○婦人科 (子宮頸部)

出題者 鈴木 久恵 先生（奈良県立医科大学附属病院病院病理部）

回答者 笠松 功 先生（紀南病院中央臨床検査部）

回答者 吉安 可奈子 先生（兵庫医科大学病院病理診断科）

○液状検体（胸水）

出題者 森 秀夫 先生（大阪はびきの医療センター病理診断科）

回答者 村井 志織 先生（神戸市立医療センター西市民病院臨床検査技術部）

回答者 寺本 祐記 先生（京都大学医学部附属病院病理診断科）

○穿刺吸引（膵臓；EUS-FNA）

出題者 小栗 大助 先生（大津赤十字病院 病理診断科部）

回答者 糸山 佳吾 先生（吹田徳洲会病院 臨床検査科）

回答者 松岡 未奈巳 先生（奈良県立医科大学 病理診断学講座）

16:15-16:25 閉会の挨拶 岸本光夫（京都臨床細胞学会専門医会会長）

第 47 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会予算書

【収入の部】

科 目	予算額	備 考
学会参加費	1,560,000	
会員参加費（現地＋Web）	750,000	¥3,000×250名
会員参加費（オンデマンド）	750,000	¥3,000×250名
非会員参加費（現地＋Web）	30,000	¥3,000×10名
非会員参加費（現地＋Web）	30,000	¥3,000×10名
助成金収入	400,000	
近畿支部助成金	400,000	
その他	0	
広告費	200,000	
広告費	200,000	
その他	0	
雑収入	0	
	0	
	0	
借入金収入	200,000	
借入金	200,000	京都臨床細胞学会から
収入合計	2,360,000	

【支出の部】

科 目	予算額	備 考
事業費	2,076,540	
会場借用費	275,880	京都大学百周年記念館使用料
設営費	1,196,660	ホームページ制作、Web配信（オンデマンド含む）の委託費
講師謝礼	340,000	講師費・交通費・宿泊費（Web参加の場合は不要）
運営費	184,000	実務員日当、交通費、お弁当
接待費	50,000	記念品代
印刷費	20,000	抄録集は近畿連合会負担
事業予備費	10,000	
管理費	283,460	
事務費	283,460	電子機器購入、参加費徴収時の電子決済手数料含む
会議費	0	Zoom会議
支出合計	2,360,000	
収支差額	0	

広告・協賛申込書

京都臨床細胞学会事務局 御中

令和 年 月 日

貴学会担当の第47回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会に賛同し、下記の通り申し込みます。

(どちらかを丸でお囲みください。)

1. 広告 A (費用：100,000 円)
2. 広告 B (費用：10,000 円)
3. 菓子パン等の軽食、飲料の提供

貴社名 _____

ご住所 _____

ご担当者名 _____

部署名 _____

E.mail _____